



発行所  
高崎高校同窓会  
高崎市八千代町2-4-1  
TEL 0273-24-0074

編集兼発行人  
志村甲子郎

印刷所  
高崎市電見町6-1  
熊谷印刷所

# 創立八十周年記念事業を終えて

## これからの課題



学校長 中野敏宗

只今、学校は創立八十周年記念式典とこれにともなう諸行事を終え、新装成った学び舎で新しい歴史の第一歩を静かに歩み始めております。生徒達も新校舎に整備された諸施設や機器を有効に活用し、修学の実をあげております。八十周年記念事業として設けられた天体観測望遠鏡についても生徒はその高性能の機械を駆使することに馴れ、立派な天体写真が撮れるようになりました。学芸部室棟も十六クラブの部室に割りあてられ、部員のコミュニケーションや研修の場として喜ばれております。校庭改修は最大の記念事業でありま

したが、それぞれの競技の練習にも一層熱がこもり、軟かな緑に蔽われた広いグラウンドには賑やかに若い力が躍動しています。グラウンドに出てこの光景を見ることは私にとって最高の楽しみであり、百年の寿命の延びる思いがします。この改修事業は多大な費用を要するにもかかわらずその結果が形となつて残らないのでお願いしづらかったわけですが、同窓会では敢えてこれを選択して戴き今更のように感謝いたしております。これらの大事業を終えてしみじみと感じられますことは、卒業生諸兄の母校を思う心の深さと同窓会のもつ力の大きさであります。これか

# 総会並びに新年会

昭和五十四年二月三日(土) 午後二時半より

## 高崎地域医療センター

(高崎市高松町、高崎市役所西)

新年会費 二、〇〇〇円

一近所にお住いの同窓の皆様にお声をかけ多数ご参加ください旧交・懐旧の意義ある一日といたしたいと存じますので是非ご出席くださるようお願いいたします。

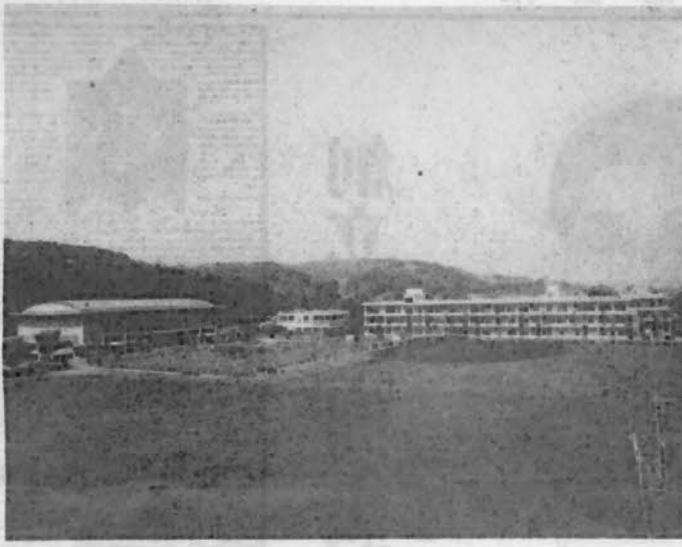
らはこれら先輩のご厚情に応えるためにも一層校風の高揚に努め、たとえ校舎校庭が新しく変わりましたが、八十年間培われた高々の精神を継承し発展させねばならないと考えます。もつとも高々のもつ精神とは何かと問われても二口で答えるには難しいこととありますが、私は高々の精神として小事にこだわらない自由闊達な気風、暖かい心情で結ばれた友人関係、卑劣を嫌い公正を愛する心、またきびしい苦難に打ち勝つ逞しさ等があげられると思います。これらの精神を維持し向上させることは必ずしも容易なことではありません。特に現代の過保護と甘えの風潮の中で育つた生徒達にきびしさに堪える心を求めることは困難でありましょう。しかし「仏を作つて魂を入れず」という言葉がありますが、新しい学び舎にはこれらの古きよき魂をぜひ入れたいと考えます。

この伝統的精神を培う方途の一として考えられるのが、古くから本校で強調されてきた文武両道の精神、即ち勉学とともにスポーツにも精励することであると思います。今日、大学受験の競争もいよいよ奇烈を極めており、学業にも充分力を注がねばなりません。敢えて運動も奨励したいと考えます。それは、これからの社会に役立つ者は単に頭脳がよいのみでなく、ヴァイタリティのある人また円満な人間関係を保てる人でなければならぬと思ひますが、これらを培うにはスポーツが最適と考えられるからであります。現在社会で活躍している多くの先輩も学業と運動の両立を成し遂げてきたのであり、現在の生徒もこのきびしい課題を克服する力をもつものと確信いたします。それは険しい道でもありますが、一層のご声援をお願いします。

# 八十周年記念式典

## 無事終了

好天に恵まれた去る六月一日(木)、創立八十周年校舎落成記念式典は盛大に挙行された。当日の来賓三〇七名に教職員、在校生を含む一五〇〇余名が会場の体育館に集合、十時から十一時三十分におわたり式典が挙行され、続いて十二時より剣道場において祝賀会が開かれた。なお記念の催し物として、東京三洋対慶応大学のラグビー試合が十三時より校庭で展開された。



手前から芝生の張つてあるラグビー兼サッカー場、周囲は陸上用トラック。向う側移転した野球場、プールの東南にはテニスコート。(写真は岩山写真店提供)

記念式典の式次第は次の通りであった。

- 1 開式の辞
- 2 君が代斉唱
- 3 物故職員・卒業生に対する黙禱
- 4 学校長式辞
- 5 挨拶
- (1) 創立八十周年記念事業委員会会長
- (2) 群馬県教育委員会
- 6 工事報告



井上房一郎氏設計による、純日本の中庭石の周囲には、どうだんつつじ、りゅうのひげ、等が植えられている。

- 7 八十周年記念事業報告
- 8 感謝状贈呈
- 9 功労賞贈呈
- 10 表彰状贈呈
- 11 来賓祝辞
- (1) 国会議員代表
- (2) 群馬県知事
- (3) 群馬県議会議長
- (4) 高崎市市長
- (5) 高校長協会代表
- 12 生徒代表謝辞
- 13 校歌斉唱
- 14 閉式の辞

### 八十周年記念

### 事業報告(概要)

副会長 原一雄氏

昭和四十九年七月二十日、記念事業委員会が発足し、ここに記念事業はおおむね計画通りに完了しました。関係者一同に深く感謝する次第です。なお五月一日現在の募金状況は左の通りであります。

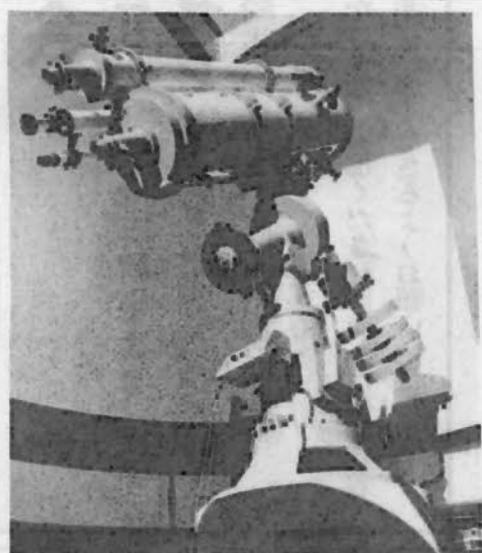
- 同窓会特志寄附 五、五〇一万円
  - 同窓会一般寄附 二、三九五万七千円
  - PTA特志寄附 三、一〇七万八千円
  - 合計 一億一、〇〇三万八千円
- 記念事業の内容は左の通りです。
- (一) 校庭改修工事 土盛り、給配水設備、芝張り等に 七、二七七万円
  - (二) 天体観測施設の新設 観測ドームならびに直径三十七センチの反射望遠鏡 七〇〇万円
  - (三) 学芸部室棟 鉄筋三階建、学芸部

二十二部室 二、七〇〇万円  
 学校史ならびに式典費用 七〇〇万円  
 (以上)

県下でも珍しい学芸部室棟、手前は古松株式会社に寄贈して戴いた坪庭。



新校舎屋上にあつて銀色に輝くドームは、最高級の天体望遠鏡とともに県内最高の設備を誇っている。



# 七社に感謝状贈呈

記念式典にあたり、左の七社に記念品を贈呈し、感謝の意を表した。

- 一、井上工業株式会社(建築一般)
- 一、藤田工事株式会社(水道・冷暖房)
- 一、日本電業株式会社(電気関係)
- 一、(株)小野建築設計事務所(校舎設計)
- 一、株式会社群馬総業(校庭改修)
- 一、(株)地下開発コンサルタント(校庭整備)
- 一、長谷川体育施設株式会社(校庭設計)

# 井上・真木両氏に功労賞

本校同窓会長として永年その重責を果たされた真木武次氏(十五期)ならびに先輩として母校の環境整備・教育振興に貢献された井上房一郎氏(十五期)にはそれぞれ功労賞が贈呈され、その功績に報いられた。

なお両氏に贈られた記念杯は、その後学校に寄贈され、真木賞・井上賞として、今年から在校生に与えられることになったが、詳細は学校当局で目下検討中である。

(写真は岩山写真店提供)



祝賀会場における左から  
国会議員代表中曾根康弘氏  
功労者の井上房一郎  
真木武次の両氏

五十六期生から贈られた鏡一式  
(写真は岩山写真店提供)



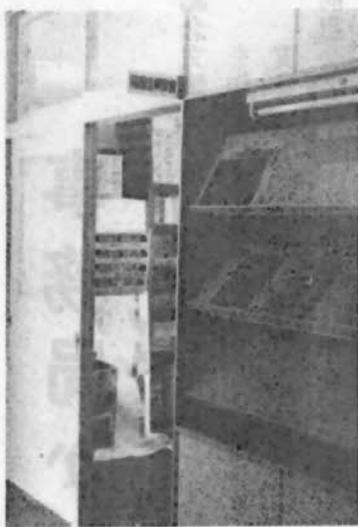
# 記念行事に特別寄附

- 一、南玄閣前庭 古久松株式会社
- 一、中庭石燈楼一基 井上房一郎氏(15期)
- 一、梵鐘一基 山端敬吾氏(23期)
- 一、油絵(四十号) 豊田一男氏(26期)
- 一、群書類従(正篇) 二十期生一同
- 一、かいづかいぶき 田島秀雄氏(41期)
- 一、クラシックレコード50枚他数点 安藤直典氏(45期)
- 一、校庭用ベンチ(みかげ石) 五基 他に桜・あすなろ等 四十六期生一同
- 一、松ならびに記念碑 五十二期生一同
- 一、剣道場用垂幕 清水英徳氏(54期)
- 一、鏡一式 五十六期生一同

# 同窓生資料室完成

## 専任に田丸さん

新校舎三階に「同窓生資料室」が完成、八十年に及ぶ本校歴史の資料の収集、保管、同窓生との相互連絡の事務局の一室として誕生しました。「群馬」、卒業アルバム、全同窓生カード、校史資料等、徐々に整備中です。同窓職員の外、専任として田丸素子さんに、名簿原稿の整理、全会員通知の宛名書き等、この七年間継続して御世話いただいております。



# 同窓会維持会費についてのお願

私たちの高崎高等学校同窓会の運営につきましてはいつもご高配をいただきありがとうございます。会計報告にもありますように多くの会員の方から維持会費の納入をいただき、おかげさまでその運営も順調にしております。しかし總會、会報の発送費だけでも六十万円をこすのが現状でありまして、その内情は決して楽であるとはいえない状態であります。

さて、ご承知のことと存じますが總會の決定により、昭和47年度より維持会費(会員一人当り年額一口一、〇〇〇円一口以上を納めていただくことになりました。なお常任理事会で常任理事については五口五、〇〇〇円、理事については三、〇〇〇円、〇〇〇円をお願いすることに申し合わせてあります。なにとぞ同窓各位におかれましては同窓会運営のため、ご賛同を賜わり、ご協力の程お願いいたします。

なお納入には同封の維持会費納入用の振替用紙をご利用下さい。

追記 八十周年記念事業用の振替用紙も同封してあります。

# 同窓会名簿について

皆様のお力添えにより昭和五十二年に発行しました名簿の残部がまだあります。ご希望される方は次の要領でお願いします。

- 1 一部領布価格 二、〇〇〇円
- 郵送料・諸費用 五〇〇円
- 合計 二、五〇〇円
- 2 振替用紙(同封のもの)で送金願います。
- 3 領収書は振替用紙でかえさせていただきます。
- 4 お早めにお申込みください。

昭和52年度 高々同窓会経常会計報告 (昭和52年1月~12月)

Table with 4 columns: 収入の部, 費目, 昭和52年予算, 実収入, 備考. Rows include 前年度からの繰越金, 入会金, 維持会費, 利息, 合計.

Table with 4 columns: 支出の部, 費目, 昭和52年予算, 実支出, 備考. Rows include 会議費, 祝賀費, 饗別費, 慶弔費, 通信印刷費, 旅費, 總會通信印刷費, 同窓会報費, 事務費, 予備費, 同窓会基金へ, 次年度への繰越, 合計.

昭和52年度 高々同窓会特別会計(同窓会基金) (昭和52年1月~12月)

Table with 4 columns: 収入の部, 費目, 支出の部, 費目. Rows include 前年度からの繰越, 利息, 経常会計より, 残高合計, すいらん会館改修費補助, 高崎信用金庫西支店(定期).

昭和53年度 (昭和53年1月~12月)

高々同窓会経常会計予算案

Table with 4 columns: 収入の部, 費目, 昭和53年予算, 備考. Rows include 前年度からの繰越金, 入会金, 維持会費, 利息, 合計.

Table with 4 columns: 支出の部, 費目, 昭和53年予算, 備考(増△減). Rows include 会議費, 祝賀費, 饗別費, 慶弔費, 通信印刷費, 旅費, 總會通信印刷費, 同窓会報費, 事務費, 予備費, 合計.

昭和53年1月29日

高々同窓会校内幹事会計 角田匡巳・木村 仁

昭和52年度 庶務報告

- 52. 1.29 常任理事会 高崎 高崎高校
2. 5 理事会及び總會 高崎 地域医療センター
5.17 京浜同窓会新入会員 東京 海運ビル 歓迎会
11.17 京浜同窓会總會 東京 海運ビル

進学状況 (現役・浪人の延人数)

Table with 4 columns: 種別合計, 51年, 52年, 53年. Rows include A 国立一期, B 国立二期, C 公立, D 私立, A+B+C+D, 準大学・短大・各種, 総計, 卒業業者数, 現役進学者数, 合格者/進学希望者.

Table with 4 columns: 51年, 52年, 53年, 51年, 52年, 53年. Rows include 北大, 東北大, 千葉大, 東大, 一橋大, 東工大, 筑波大, 新潟大, 金沢大, 京都大, 群大, 埼玉大, 東外大, 山梨大, 信州大, 横国大, 高経大, 横市大, 青学大, 学習大, 慶応大, 芝浦工大, 上智大, 中央大, 東海大, 東京電機, 理科, 医大, 東洋大, 日本大, 法政大, 明治大, 立教大, 立命大, 同志社, 早稲田大.

事務局からの連絡

記念文鎮 創立八十周年を記念して文鎮を作成しました。(写真) 残部僅少、実費一、五〇〇円(送料、学校負担) 同窓会名簿 昭和五十二年発行のもので、す。残部あり。次回発行は五年後、価格 二、〇〇〇円 (郵送は送料等共二、五〇〇円) 遠方の方は現金書留で「同窓会記念品係」または「同窓会名簿係」へ送金して下さい。 その他の方は、母校事務室の窓口か、



在校生を通して直接購入して下さい。